



研究用試薬

ヒストファイン

第一抗体

抗 IgG4モノクローナル抗体

(動物種 : マウス)

包装 : 50 テスト (6mL)

Code : 418051

製造販売元

株式会社ニチレイバイオサイエンス

〒104-8402

東京都中央区築地6-19-20

TEL. 03(3248)2208 FAX. 03(3248)2243

■ **特異性および抗原分布** : ヒト immunoglobulin G4 (IgG4) と特異的に反応する。ヒト IgG1、IgG2、IgG3 とは反応しない。IgG は免疫グロブリンのクラスの一つで、分子量は 150kDa である。ヒトの IgG には IgG1、IgG2、IgG3、IgG4 の 4 つのサブクラスが存在する。ヒト組織中の正常および腫瘍性の形質細胞の細胞質に局在する IgG4 を検出できるが、結合組織や血管内にみられる細胞外 IgG4 も同時に染色される。IgG4 関連疾患 (IgG4-related disease) では、IgG4 陽性形質細胞の多数の浸潤がみられる。既知の各臓器炎と IgG4 関連疾患 (自己免疫性膵炎、硬化性胆管炎、他多数) との区別や、各腫瘍と IgG4 関連疾患 (炎症性偽腫瘍) との区別に有用である。

■ **クローン名** : HP6025

■ **抗体のサブクラス** : IgG1 κ

■ **免疫原** : ヒト IgG4

■ **製法** : マウス腹水より精製し得ている。

1. 内容

第一抗体・・・抗 IgG4モノクローナル抗体 (動物種 : マウス)。

液状。

ウシ血清アルブミン(BSA)と、0.1%アジ化ナトリウムを含むリン酸緩衝生理食塩水(PBS)中にて、即時使用可能な抗体濃度に希釈済み。

1バイアル中に6mLを含む。

2. 使用目的

組織・細胞中の IgG4 の染色。

*3. 使用方法

パラフィン包埋切片の免疫組織化学染色および免疫細胞化学染色に使用できる第一抗体である。

パラフィン包埋切片の場合、前処理(抗原賦活化)としてヒストファイン プロテアーゼ溶液(Code : 415231)を用いて5-15分間(25℃)の酵素処理が必要である。

スライド上の組織切片が完全に覆われるように第一抗体を 2 滴(100 μ L)滴下し、常温(15-25℃)で 30 分~1 時間インキュベートする。*

この反応時間は、ヒストファイン シンプルステイン MAX-PO(M)を使用する場合の目安であり、他のキットを使用する場合は、研究者自身が至適反応時間を調べる必要がある。

■ **参考** : 組織の固定状況等によりヒストファイン プロテアーゼ溶液(Code : 415231)の代わりに、ヒストファイン トリプシン溶液(Code : 415101)にて5-15分間(37℃)処理することでより良好な染色結果が得られる場合がある。また、処理なしで良好な染色結果が得られる場合がある。*

4. 貯法

2-8℃保存。

5. 使用上又は取扱上の注意

ヒト由来の検体は、取扱者に感染をひき起こす危険性がある。従って、適切な取扱および廃棄法を用いるとともに、この免疫組織(細胞)化学染色法を施行するに際し、関連技術および操作法に充分習熟しておかなければならない。

6. 主要文献

(1) S. Kitagawa, et al : Am J Surg Pathol. 29 : 783-791, 2005

(2) Lyun D. Cornell., et al : Am J Surg Pathol. 31 : 1586-1597, 2007

(3) Wah C., et al : Am J Surg Pathol. 32 : 671-681, 2008

(4) H. Yamamoto, et al : Am J Surg Pathol. 33 : 1330-1340, 2009

(5) Liegl B., et al : Am J Surg Pathol. 33 : 1713-1719, 2009

■ 研究用としてのみ使用すること。